

生命現象に迫るサイエンス

— 最先端の技術・装置で明らかにする生命のしくみ —

開催形式 オンラインシンポジウム



主催 文部科学省学術変革領域研究学術研究支援基盤形成 生命科学連携推進協議会
共催 文部科学省学術変革領域研究学術研究支援基盤形成「コホート生体試料支援プラットフォーム」、「先端バイオイメージング支援プラットフォーム」
「先端モデル動物支援プラットフォーム」、「先進ゲノム解析研究推進プラットフォーム」
後援 大阪大学21世紀構徳堂

定員
500名
(事前申込制)
オンライン開催
参加無料

2022.10.23 日 13:00-16:10



生命現象に迫るサイエンス –最先端の技術・装置で明らかにする生命のしくみ–

近年、生命科学に関する様々なニュースをよく耳にするようになりました。メディア上ではゲノム編集や再生医療といったテーマが頻繁にとりあげられています。いま、生命科学は私たちにとって非常に身近な話題になっているといえるでしょう。そこでは、生命の仕組みを様々なアプローチによって明らかにし、可視化する試みがおこなわれています。

一方で、高いレベルの研究を行うには、専門的技術や大規模な実験装置などが必要となり、研究者が個人の力だけで研究を進めることが困難な状況も生まれています。

では、現在の生命科学の現場では、具体的にどのような取り組みがおこなわれており、またそれは私たちの社会をどのように変化させていくのでしょうか。今回のシンポジウムでは、最先端の研究者とともに、科学研究と社会のいまと未来について市民のみなさまと考えてみたいと思います。

プログラム

13:00 開会の挨拶 武川 睦寛 東京大学 医科学研究所 生命科学連携推進協議会

13:10 講演①「乳がん幹細胞を標的とするがんの治療と予防戦略」 後藤 典子 金沢大学 がん進展制御研究所 分子病態研究分野

13:35 講演②「最先端光学顕微鏡で生体からビッグデータを取得する」 三上 秀治 北海道大学 電子科学研究所

14:00 講演③「薬の副作用を調べるには？」 澤崎 達也 愛媛大学 プロテオサイエンスセンター

(休憩 15分)

14:40 講演④「次世代シーケンサーによる子宮内膜症の解明」 井ノ上 逸朗 国立遺伝学研究所 人類遺伝研究室

15:05 パネルディスカッション

指定発言 須田 桃子 NewsPicks 編集部

16:05 閉会の挨拶 加藤 和人 大阪大学大学院 医学系研究科



スピーカー



後藤 典子

(ごとう・のりこ)

金沢大学
がん進展制御研究所
分子病態研究分野



三上 秀治

(みかみ・ひではる)

北海道大学
電子科学研究所



澤崎 達也

(さわさき・たつや)

愛媛大学
プロテオサイエンスセンター



井ノ上 逸朗

(いのうえ・いつろう)

国立遺伝学研究所
人類遺伝研究室



須田 桃子

(すだ・ももこ)

NewsPicks 編集部

開催形式

オンラインシンポジウム

- ・オンライン会議ツール「Zoom」を使用します。
- ・パソコン・タブレット・スマートフォンで全国どこからでもご参加いただけます。
- ・参加登録をいただいたメールアドレスに、「Zoom」の使い方を含む当日の参加方法の詳細をお送りします。

参加登録

下記ページのフォームから参加登録をお願いします。

登録されるメールアドレスに事務局 (symposium@eth.med.osaka-u.ac.jp) から差し上げる連絡が届くよう、あらかじめ迷惑メールの設定等ご確認ください。

<https://www.med.osaka-u.ac.jp/pub/eth/seminar/20221023/>



日時

2022.10.23 日

13:00-16:10

お問合せ

大阪大学大学院医学系研究科 医の倫理と公共政策学
email: symposium@eth.med.osaka-u.ac.jp